

講義名	社会保障論		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	上瀧 真生		
開講期・曜日・時限	後期 木曜日 3時限		
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 / 2018年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2018年度 経済学部 経済情報学科 / 2018年度 経済学部 経済学科 / 2018年度 商学部 マーケティング学科 / 2018年度 商学部 経営学科 / 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		講義コード	43017

主題と概要

社会保障の理念の発展と制度の体系を概観することで社会保障という仕組みの基本を理解するとともに、我が国の年金制度と労働保険制度を取り上げてその仕組みと現在の問題点を考える。この講義と社会保障論（中島孝子先生担当）の両方を受講することによって、社会保障制度の全体像を基本的に理解することをめざす（社会福祉士の試験科目である「社会保障論」を自力で学習する基礎的能力を身につける）。

到達目標

社会保障をめぐる問題に関心をもつこと。
 社会保障制度についての基本的知識を身につけること。
 社会保障制度についての自分なりの考えをもつこと。

提出課題

講義時に2回小テストを課す。
 また、中間レポート試験を課す。
 中間レポート試験を提出した者にも、定期試験の受験資格を与える。

評価の基準

定期試験、講義時間中に行う小テスト、中間レポート試験の総合評価（単純合計）による。
 小テスト 10点満点×2=20点満点
 中間レポート試験 最高10点
 定期試験 80点満点

履修にあたっての注意・助言他

社会保障制度は多くの制度・仕組みの組み合わせで成り立っているため、複雑でややこしく、取っつきにくいと感じる受講生がいるかもしれない。できるだけ身近な問題との関係を踏まえて基本的な考え方を講義するつもりであるため、受講生も新聞や雑誌などの関連記事に目を通し、今日の社会保障をめぐる問題について知る努力をしてほしい。

- なお、以下のとおり、受講ルールを定める。
- (1) 授業開始後15分を経過したのちは入退室を認めない。
 - (2) 座席については教員の指示にしたがう。
 - (3) 私語は厳禁。目にあまる場合は退室してもらう。
 - (4) 携帯電話などの電源は切る。

教科書

『社会福祉学習双書2019 第6巻 社会保障 』社会福祉学習双書』編集委員編 全国社会福祉協議会	2400円（税別）
論	

プリント資料及び参考文献

講義時にプリントを配布する。

授業計画

01. 社会保障とはなにか
02. 現代社会における社会保障制度の課題
03. 現代社会における社会保障制度の課題
04. 社会保障制度の歴史
05. 社会保障制度の歴史
06. 社会保障制度の歴史
07. 社会保障の財源と費用
08. 社会保障の財源と費用
09. 社会保険と社会扶助
10. 社会保険と社会扶助
11. 年金保険制度の概要と課題
12. 年金保険制度の概要と課題
13. 年金保険制度の概要と課題
14. 労働保険制度の概要と課題
15. 労働保険制度の概要と課題

予習・復習

小テストの準備と復習 30時間
 中間レポート試験の準備 15時間
 定期試験の準備 15時間

備考

--